

札幌市内の観光施設・飲食店の皆さまへ

受入環境整備や収益力向上を支援する

補助金のご案内です

最大 100 万円
(補助率 2 分の 1)

令和8年度

札幌市 観光施設受入環境整備補助金

対象者

- 対象者1.

札幌市内で1年以上事業を営んでる博物館又は美術館、水族館を含む観光施設を所有する法人格を持つ者

- 対象者2.

札幌市内で1年以上事業を営んでる食品衛生法の許可を受け営業する飲食店

上限額

補助上限額は

1. 観光施設: 100万円
2. 飲食店: 50万円

※同一施設の申請は年度内1回限りです。

補助率

補助対象経費の
2 分の 1
です。

申請受付期間

補助申請の受付期間は
令和8年7月24日(金) ~
令和8年12月21日(月)

※補助金額が上限に達し次第受付を終了します。

事業実施期間

補助対象事業実施期間は
交付決定日から
令和9年2月28日(日)まで
※上記期間内に補助対象事業の実施
および支払いを完了してください。

対象事業

補助対象事業

1. 観光施設

1. 多言語対応
2. 多様な文化等への対応
3. キャッシュレス対応
4. 和式トイレの洋式化への対応
5. 施設利用単価を上げ収益力を高めるための対応
6. 施設利用客の分散化・平準化への対応
7. 無料公衆無線LAN環境の整備にかかる対応
8. 災害時対応
9. SDGs (環境配慮) への対応

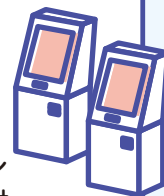


2. 飲食店

1. 多言語対応
2. 多様な文化等への対応
3. キャッシュレス対応※
4. 和式トイレの洋式化への対応※

※飲食店の追加条件

「キャッシュレス対応」及び「和式トイレの洋式化への対応」については「多言語対応」又は「多様な文化等への対応」を既に実施しており、外国人観光客の受入環境が十分に整っている場合に限りです。



補助金の
併用が
可能です

本補助金は、国、北海道、その他の団体による補助金等との併用が可能です。ただし、他の補助金等の交付を受ける見込みがある場合は、その交付予定額を控除した後の対象経費を基に本補助金額を算定します。

※詳しくは裏面をご参照ください。

活用事例

主な補助対象の取組例

過去の申請事例や、補助対象となる主な取組事例をご紹介します。
ぜひ参考にいただき、補助金の活用をご検討ください。

観光施設・飲食店共通

1. 多言語対応

- ・ホームページやパンフレット、メニューの多言語化
- ・多言語案内板
- ・多言語放送設備
- ・セルフオーダーシステム

2. 多様な文化等への対応

- ・ヴィーガンメニュー開発
- ・ハラル対応メニュー開発
- ・礼拝スペース整備
- ・異文化対応研修



3. キャッシュレス対応

- ・キャッシュレス券売機
- ・クレジットカード決済
- ・POSレジ導入

※飲食店は条件があります。



4. 和式トイレの洋式化への対応

※飲食店は条件があります。
※飲食店が「キャッシュレス対応」「和式トイレの洋式化」を申請する場合は、「多言語対応」または「多様な文化等への対応」に既に取り組んでいることが条件です。

観光施設のみ

高付加価値化・収益向上

5. 施設利用単価を上げ、収益力を高めるための対応

- ・貸切プラン造成
- ・プレミアムツアー造成
- ・ライトアップ整備



混雑対策・利用分散

6. 施設利用客の分散化・平準化への対応

- ・セルフレジ導入
- ・混雑状況表示システム
- ・早朝・夜間プログラム造成



7. 無料公衆無線LAN環境の整備



8. 災害時対応



- ・非常用発電機
- ・BCP策定
- ・災害対応研修

9. SDGs（環境配慮）への対応



- ・給水機設置
- ・省エネ設備更新
- ・IoT対応ごみ箱

補助金申請から受領までの流れ



詳細・募集要領はこちら

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/hojo/r8ukeirekannkyouseibi.html>

または で検索してください

お問い合わせ

令和8年度札幌市
宿泊施設及び観光施設受入環境整備補助金事務局
株式会社 JTB 北海道事業部内
TEL: 070-1771-8945 メール: sapporo-subsidy@bsec.jp

